CASIO

5274P*JA

P

取扱説明書

5274

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⃠ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。



- **本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。**

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

ご使用上の注意

防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5 気圧防水	10 気圧防水	20 気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- **専門的な潜水=スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。**
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません

磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

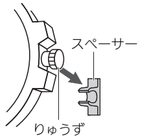
© 2012 CASIO COMPUTER CO., LTD.

Printed in China
MA1204-A

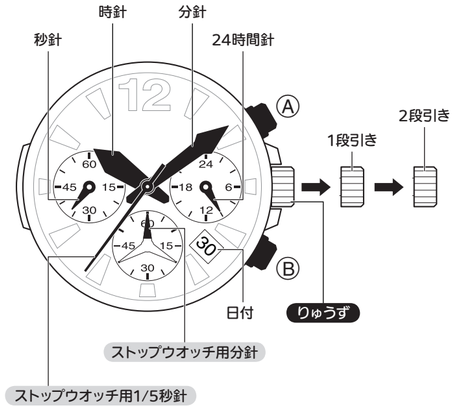
本機をご使用になる前に

商品によっては、出荷時にスペーサーが組み込まれていることがあります。スペーサーが組み込まれている場合は、本機をご使用になる前に取り除いてください。

- スペーサーを取り除いた後は、「りゅうずについて」と「時刻を合わせる」をお読みになり、時刻を合わせてください。

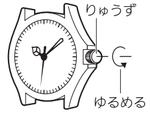


この時計の使いかた



ストップウオッチ機能

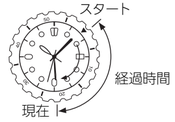
りゅうずについて



防水時計の一部（おもに 10 気圧／ 20 気圧防水）は、りゅうずがねじ込み式になっています。時刻合わせなどの操作をする場合は、りゅうずを反時計回りに回し、ネジを緩めてからりゅうずを引いてください（無理に引っ張らないでください）。
なお、りゅうずのネジを緩めた状態では防水機能を保てません。時刻合わせなどが終わったら、必ずりゅうずのネジを締めてください。
締めるときは、りゅうずを軽く押しながらねじ込んでください。

回転ベゼルのついているものは

回転ベゼルを回して▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。



製品仕様

精度	平均月差± 20 秒
使用電池	二次電池
持続時間	約 6 ヵ月
ストップウオッチ機能	計測範囲＝ 59 分 59 秒 8（60 分計） 計測単位＝ 1/5 秒 計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測
その他	バッテリー充電警告機能

時刻を合わせる

秒針が12時位置のとき
りゅうず を2段引く
↓
りゅうず を回して時刻を合わせる
↓
りゅうず を戻す

参考：
- 午前 / 午後を間違えないように合わせてください。
- 時刻を合わせるときは、合わせたい時刻より 4 ～ 5 分進めてから逆に戻して合わせてください。

日付を合わせる

りゅうず を1段引く
↓
りゅうず を回して日付を合わせる
↓
りゅうず を戻す

参考：
- 日付は 31 日制です。日数が異なる月は修正してください。
- 午後 9 時から午前 1 時の間に日付合わせをしないでください。正確に切り替わらない場合があります。

ストップウオッチを使う

1/5 秒単位で 59 分 59 秒 8 まで計測できます。

通常計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測…ストップ後リセットせずに Ⓐ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

1・2 着同時計測

Ⓐ スタート → Ⓑ 1 着ゴール（1 着タイム表示） → Ⓐ 2 着ゴール → Ⓑ 2 着タイム表示 → Ⓑ リセット

重要：
りゅうずを引いたまま計測しないでください。

参考：
- ストップウオッチ用 1/5 秒針とストップウオッチ用分針は、計測開始から 60 分間動き、60 分経過すると 12 時位置で止まります。計測をストップすると計測時間の位置まで針が動きます。
- 秒針が 2 秒ごとに動いているときは充電不足です。充電不足になると、ストップウオッチ用の針は動かなくなります。
- ストップウオッチ計測中に充電不足になると、ストップウオッチはリセットされます。

針の基準位置を修正する

計測をリセットしたとき、ストップウオッチ用の針が 12 時位置に戻らない場合は、以下の手順で針の基準位置を修正します。

りゅうず を2段引く
↓
Ⓐボタンを約3秒間押し続けると
ストップウオッチ用分針 が回転する
12時位置に戻らない場合は、Ⓑボタンを押して合わせます。
Ⓑボタンを押し続けると、針を早送りできます。
↓
Ⓐボタンを約3秒間押し続けると
ストップウオッチ用1/5秒針 が回転する
12時位置に戻らない場合は、Ⓑボタンを押して合わせます。
Ⓑボタンを押し続けると、針を早送りできます。
↓
りゅうず を戻す

重要：
りゅうずを引いている間は時刻表示の針も止まるため、時刻を合わせ直してください。

正常に動かないときは

針が正しく動かないときや、十分に充電しても秒針が 1 秒ごとに動かないときは、次の操作をお試しください。

りゅうず を2段引く
↓
Ⓐボタンと Ⓑボタンを同時に約3秒間押し続ける
↓
りゅうず を戻す
秒針が動きはじめます。
秒針が2秒ごとに動いているときは、1秒ごとに動くようになるまで、十分に充電してください。
↓
ストップウオッチをリセットしても、**ストップウオッチ用1/5秒針** と **ストップウオッチ用分針** が12時位置に戻らないときは、計の基準位置を修正してください。

重要：
りゅうずを引いている間は時刻表示の針も止まるため、時刻を合わせ直してください。

ソーラー充電について

この時計は、ソーラーパネルによって発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら使用します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光が当たるように心がけてください。

充電の方法



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1 ヵ月に 1 回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電量が低下します。

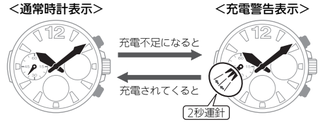
注意：
- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

充電不足になると警告機能が働いてお知らせします。速やかに充電してください。

バッテリー充電警告機能

バッテリーが充電不足になると、秒針が 2 秒ごとに動いて充電不足をお知らせします。



充電にかかる時間

充電時間の目安として下表を参照してください。

1 日、使用するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 8 分
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 30 分
曇りの日の窓際など（5,000 ルクス）	約 48 分
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 8 時間

充電容量の回復に必要な時間

環境（照度）	1 秒運針までの充電時間	充電が完了するまでの時間
晴れた日の屋外など（50,000 ルクス）	約 3 時間	約 24 時間
晴れた日の窓際など（10,000 ルクス）	約 11 時間	約 94 時間
曇りの日の窓際など（5,000 ルクス）	約 18 時間	約 144 時間
蛍光灯下の室内など（500 ルクス）	約 175 時間	—

重要：
充電が完了すると、約 6 ヵ月間は充電しなくても動き続けますが、安定した状態でお使いいただくため、こまめに充電をしてください。

参考：
実際の充電時間は環境によって異なります。

過充電防止機能

充電が完了すると、それ以上は充電しないように過充電防止機能が働くため、安心して充電することができます。

メンテナンスについて

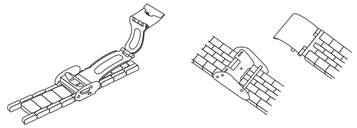
本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

- 金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
  お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
  なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
  詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。
  ※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

例）



お手入れについて

お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。
  また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉
- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。